

## 1 白峰合戦古戦場（史跡三十六）



県道林田・府中線から東、  
静かな町並みの中に、ひっそりと碑と墓が  
たたずむ史跡三十六があります（林田町480番地）。

南北朝の争乱を著した「太平記」に記されていますが、南朝  
の将細川清氏と従士36名が憤死した地と伝えられています。  
このことから「三十六さん」と呼ばれて、桜の名所でもあり、  
昭和34年に坂出市の史跡に指定されました。

## 2 彫刻「またきまい」 （大崎山園地展望台）

「またきまい」と  
「またきまい」を  
かけているのかな…

大崎山園地（五色台の北側に位置し、五色台スカイライン  
の北端にある標高231mの大崎山にある。）の展望台には彫  
刻家、流政之氏制作の瀬戸内の島々をまたいで歩く姿を表  
したといわれる「またきまい」  
の石彫があります。

「またきまい」は香川の方言  
で、「また来てください」の意。  
瀬戸内海を背景に時間とともに  
様々な表情が見られます。



## 3 松山全景（松山の条里制）

松山地区の土地区画整備の始まりは、約1400年前!!  
西暦645年の大化の改新により、これまでの皇族・  
氏族が私有していた領地・部民は国家がすべて公収し  
て公地公民とすることが決められました。そして、口分  
田（くぶんでん）として6歳以上の男子は2反、女子はその  
2/3が与えられました（班田收授法）<sup>※1</sup>。これは農民の  
最低生活の保障と併せて、徴税対象の明確化のためで  
あり、長い年月をかけて耕地を整然と方格に地割して  
土地の区画を行ったとあります（古代条里制）<sup>※2</sup>。

※1 公民に対して一定の土地を収授する法

※2 班田の収授を実施するために採られた古代の土地区画制度

<出典「綾・松山史」（昭和61年刊行）より>



参考：里山 里海と歴史探訪 王越観光ガイドより

### 編集後記

コロナ禍の中で遠方の旅行に出かけず、近くを再発見しようという傾向があります。  
ニューヨークタイムズで“2019年行くべきデスティネーション”に“Setouchi  
Islands”（瀬戸内）が日本で唯一選出されました。世界から観光客が来ることが期  
待されましたが、残念ながらコロナの影響を受けました。

来年の今頃は、コロナ禍の収束に向け光明が見え、国内外から多くの方が『瀬戸内  
国際芸術祭2022』に訪れ、島の自然や生活、歴史を体感・堪能してほしいです。（若谷）

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……丸岡豊和  
委員……寒川佳枝 東原 章 若谷修治  
青藤義明 野角満昭 若杉輝久

次回開催は…  
5月臨時会を5月中旬に、  
6月定例会を6月中旬に、  
開催予定です。

